

新入生のみなさまへ

副学長（厚生補導担当） 東 山 紘 久



ご入学おめでとうございます。かなり昔に流行したコピーに“卒業だ。就職も決まった。さあ、勉強しよう！”というのがありました。大学は、それまでの受験勉強から解放されて、遊ぶところというイメージがあったからでしょう。これをぜひ“京大に入った！さあ、学問をしよう！”に、していただきたいと思えます。人生、遊ぶことも大切ですが。

高校までの勉強は、答えの分かっていることを学ぶことです。試験には答えの分かっていない問題は出ません。採点の仕様がわからないからです。大学での勉強・学問は、答えの分かっていない問いの答えを求めるプロセスです。

答えの分かっていない問いには、みんなが疑問に感じている一般的な問いや今の時点で最先端をいくある領域の研究者の共通した問いもあるでしょう。明確な問題意識を持って京大に入って来られた人やその問題を解くために学部や専攻を選んで受験した人は、明日から早速先輩や先生を訪問してください。同じ疑問や興味のある人と仲間を作ってください。京大には、一緒に議論したり、相談に乗ってくれる人が揃っています。同時に自分の問題意識と一見遠いように見える領域の本も読んでください。高い山の裾野が広いように、レベルの高い学問の裾野も大きいからです。でないと小さくまとまってしまう危険性があるからです。共通教育の時代は、裾野を広げる絶好の機会ですので。学部や大学の異なる人々と友人になったり、サークルに入ることも一つです。

しかし、大部分の人は、漠然とした問題意識はあっても、まだまだそんなに固まっていないと思えます。固まっていないことも、これまた大切なことです。そこには可塑性があるからです。ただ、可塑性は、粘土が時間とともに固くなるように、放っておくと失われる性質を持っています。絶えず練りこんで、手入れしておかねばならないのです。“少年易老学難成・・・”なのです。

自己の手入れは簡単なことです。今まで感じた疑問を大切にし、問題意識を明確にしようとすることです。本質から考えようと思うことです。一番素朴な疑問が一番解くのが難しい問題であることは多いものです。私の専門は臨床心理学ですので、“心とはどのようなものですか”

“人の心って分かるものですか” “心はどこにあるのですか”，といった問いに答えるのに一生をかけているのです。でもまだまだです。テツ&トモの“なんでだろう？”が、一世を風靡しましたが、何にでも“なんでだろう”と、考えることが自己を鍛える原点です。私は幼稚園で“シンデレラ姫”のお話を聞いたとき、どうしてガラスの靴、それも片方だけ12時を過ぎても、魔法が解けなかったのか、が疑問でした。ギンヤンマ釣りをした小学校低学年のとき、メスがオスが釣れるのに、なぜオスでメスが釣れないのだろうと考えました。メスに似せたオスを作って試しました。オスは釣れましたが、メスに似せた雄では、当然のことメスは釣れません。最近では、バブルが崩壊したとき、優秀なスタッフを一番多く抱えている金融機関が、一番多くの損失を出したのが不思議でした。

これらの疑問の塊のなかで残ったのが、どうして人間は“分かっているのに出来なかつたり、止められなかつたりするのだろうか”です。“健康に害がある上、他人にまで迷惑がかかるのが分かっているのに、どうしてタバコが止められないのか” “学校へ行きたいのにいけない。眠りたいのに眠れない。食べたいのに食べられない。食べたくないのに食べ過ぎる” のでしょう。これが私の臨床心理学の原点であり、今もこの問題に取り組んでいます。

さて、物事がうまくいく条件として、地の利があります。広い意味では環境です。“孟母三遷の教え”や風水のような環境設定の重要性が昔から知恵として伝えられています。科学的・実験的にこれらを検証するのは難しいのですが、数千年に渡って、人間が影響を受けてきたことは心理的な事実です。“人間の行動は個人と環境の関数である”というのには、心理学者レヴィンの言葉です。京都は学びの地としては最高の環境ではないかと思っています。伝統があり、四季の特徴がはっきりしているからです。夏の蒸し暑さ、冬の底冷えは格別です。そのためか、春のやさしさと秋の華麗さが引き立っています。

哲学の道のように有名な場所もありますが、今の季節、夜明け少し前河原町今出川から百万遍までゆっくり歩いてみてください。枕草子の“春は曙。やうやうしろくなり行く、山ぎはずこしあかりて、むらさきだちたる雲のほそくたなびきたる。・・・”にあるように、鴨川には川霧が立ち込め、大文字がなかば霧に包まれ、幻想的な京都の春に身をゆだねることができます。また、早朝一人で大学構内を散策してみてください。時計台の文字盤には、ほんやりと電灯の明るさが残っています。くすのきの葉に置かれた露が朝日に輝いています。京大に来ただという実感があなたを包むでしょう。くすのきにあなたの夢を話してみてください。そして、あなたが辛くなったときには、またくすのきと話に来て下さい。

学問と人生は未知との遭遇です。胸躍る出会いです。少なく学べば偏見になり、多くを学べば知恵になります。人との邂逅はあなたの存在を深めます。みなさんが自分にとって真に有意義な学生生活を送られることを期待しています。